

■ 北の文化の魅力発信
知事公館エリアの一体的な活用を検討するとともに、本道の文化・芸術・歴史の魅力の発信や振興に取り組みます。

(政策展開の方向性)
 道立近代美術館をはじめとする知事公館エリアの活用構想を策定するなど文化・芸術・歴史の発信拠点としての活用を検討します。また、北海道博物館の更なる活用を図るとともに、縄文文化の保全や研究、誘客、交流などを担う拠点機能の実現に向けて取り組みます。北海道遺産や日本遺産などの本道の歴史や文化の活用、さらには、まんがやアニメなどメディア芸術などの振興に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
まちづくりの推進	○地域づくり総合交付金などにより、市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化にむけた取組を支援	0209
地域政策の推進	○日本遺産構成市町村への観光入込客数の増加に向け、札幌駅前地下歩行空間で日本遺産の魅力をPRするイベント(R4.11、来場約500名)を実施したほか、「日本遺産の日」にあわせてパネル展(R5.2、来場約100人)を行うなど、認知度の向上や関心喚起を促進【各上半期の比較 R1:3,314万人、R2:1,477万人、R3:1,483万人、R4:2,258万人】 ○「恐竜・化石大陸ほっかいどう展」を実施(R4.10、来場約1万人)したほか、クラウドファンディングによる「恐竜・化石カレンダー」の制作、道内6つのジオパークや北海道大学と連携したジオパークまつりの実施(R5.6、来場延べ422人)など、振興局はもちろん各関係市町村・団体と情報共有を図りながら各地域の特性や歴史・文化に根ざした特色ある資源を活かす取組を推進	0215
自然環境及び生活環境の保全	○自然公園の適正な利用のための施設の整備・維持管理を実施【R4:19箇所】 ○「北海道フロンティアキッズ育成事業」(R4)では、道内6校の小学校5～6年生を対象にSDGsの視点を活用した環境教育を実施(R5は実施校を1校増やした7校で実施) ○「地域環境学習普及事業」のほか、「環境の村事業」ではR4に親子自然体験プログラム、エコサロン等を開催し、計71名の親子や教育関係者等にセミナーを実施	0301
北海道独自の歴史・文化の発信と継承	○北海道の歴史・文化に関わる「資料の収集・保存」「展示」「調査研究および成果の発信」「教育普及」及び「情報発信」(北海道博物館)→総合展示内「クローズアップ展示」等の定期的な更新、企画テーマ点「もっと!あっちこっち湿地」の開催等 ○北海道開拓の村の整備及び村の建造物群の3次元点群データによるアーカイブ化(開拓の村)→3次元点群データ撮影(契約作業中)、建物内展示整備(R5後半に計画) ○北海道の中核的博物館としての取組(北海道博物館)→北海道博物館大会(R5.7)を実施し、研究大会として「地方博物館から文化観光を考える」というテーマで講演や情報共有等を実施 ○北海道博物館第9回特別展「ユネスコ世界遺産登録記念 北の縄文世界と国宝」の開催→特別展開催(R5.7～、7/31時点の来館者3,626名) ○記念事業「北海道みんなの日:U-18メッセージコンクール」を実施【R5.4～6、応募数2051作品】 ○道みんの日周知のため、市町村、関係団体と連携した取組を実施【市町村立施設の無料解放・割引 R5:39施設、ホテルと連携し、道みんの日に合わせて道産食材を使ったメニューの提供 R5:9施設、企業の協力による記念セールなどの実施 R5:6社、お菓子、お酒メーカーと連携した啓発資材等の配布 R5:26店舗】	0315

(続き)

区分	主な取組	備考 (施策Code)
地域における文化・芸術活動の振興	○文化活動の促進及び人材の育成に向け、北海道文化財団や札幌交響楽団へ補助金を交付【北海道文化財団補助金(R4実績:地域文化創造事業29事業、文化活動人材育成事業8事業、文化情報発信事業3事業、芸術文化鑑賞事業29事業、芸術文化交流事業12事業)、文化芸術活動支援事業費補助金(R4採択件数:221件)、芸術文化活動費補助事業(札幌)(R4実績:音楽教室及び演奏会114公演)、文化団体活動費補助事業(文団協)(R4実績:道民芸術祭36市町村、11,020人参加)】 ○「第8回北のまんが大賞」募集中(R5.6~10)【第7回(R4)応募件数:まんが25件、イラスト100件】 ○「第3回北の絵コンテ大賞」【R4:応募件数7件】 ◇「第1回北のアニメ大賞」募集中(R5.10~12)	0316
芸術文化活動の推進	○芸術文化に触れる機会の提供に向け、各美術館等において、展覧会の開催(R4利用者:821,753人)や学校教育活動での活用を支援(R4:217校)するとともに、「北海道リモート・ミュージアム」による配信(R4:動画13本)を行い、「道立美術館等オンラインアート教室」(R4:14校)を実施 ○文化財に親しむ機会の確保に向け、文化財ニュースレターの発行による情報発信や北海道文化財保護強調月間(10/8~11/7)に関するポスターの作成による市町村の取組支援を実施【R4:文化財ニュースレター3回発行、128市町村で事業実施】 ○文化財保護の推進に向け、指定文化財の現状把握や必要な助言を行う文化財パトロールや、未指定文化財の調査を実施【(国・道の指定数)R3:343件、R4:344件、R5:345件(文化財パトロール)R4:14管内372件】 ○R4から世界文化遺産の将来への継承に向けた次世代育成事業に着手し、世界遺産子どもサミット開催、北海道の縄文遺跡を解説する教材の作成並びに小学校、中学校および高等学校でのゲストティーチャー授業を実施(R4:14校)し、学校で世界文化遺産や縄文文化についての学習が可能な環境を整備	1113
その他	◇道立近代美術館の整備方法や知事公館及び緑地の保全・活用策など「近代美術館・知事公館エリア全体の有効活用策」について、民間事業者の皆様との対話の場を設け、市場性や活用アイデアをお聞きするため、サウンディング型市場調査を実施(R4) ◇知事公館・道立近代美術館エリアの様々な魅力を集めて発信する「知事公館・近美推し風景」プロジェクトや「魅力再発見!知事公館・近美エリア 遊歩イベント」を実施(R5)	-

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調査(「○~」)、道ホームページ(「◇~」)より引用・作成